(様式第２－２号)

年　月　日

　河川管理者　様

　（県管理河川の場合は「河川企画課長」）

　　　申請者

林地開発行為の許可申請における河川管理者の助言について(依頼)

林地開発許可申請を予定している下記の開発行為について、「開発行為をする森林の下流において、開発中及び開発後の30年確率で想定される降雨強度における無調整のピーク流量が開発前のピーク流量に対して１％以上増加する範囲（調査範囲）」の設定を行いました。

そこで、浜松市林地開発許可審査基準及び留意事項に基づき、調査範囲以外において調査が必要と認められる地点の助言をお願いします。

記

１　開発行為に係る森林の所在場所

２　開発行為の目的

３　送付資料

・「調査範囲」設定に係る資料

注）

・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。

・「調査範囲」の設定に係る資料は、事前に林地開発許可の審査機関の確認を受けること。

 (様式第５号)

年　月　日

　河川管理者　様

　（県管理河川の場合は「河川企画課長」）

　　　申請者

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(依頼)

林地開発許可申請を予定している下記１の開発行為に係り、浜松市林地開発許可審査基準及び留意事項に基づき、下記２の事項について確認を依頼します。

記

１　開発行為の概要

1. 森林の所在場所
2. 開発行為の目的

２　確認・同意を求める事項

　　(1)狭窄地点の選定

　　・調査範囲のうち、30年確率で想定される降雨強度における開発中及び開発後のピーク流量を流下させることができない地点

　　・河川管理者等から助言を受けた地点

(2)ネックポイントの選定

・狭窄地点のうち、「当該開発行為による影響を最も強く受ける地点」

３　送付資料

・狭窄地点及びネックポイントの選定に係る資料

注）

・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。

・河川等の管理者との調整により、50年確率の降雨強度を用いる場合は、「30年確率」を「50年確率」に読み替えるものとする。

・狭窄地点及びネックポイントの選定に係る資料は、事前に林地開発許可の審査機関の確認を受けること。

・変更許可申請にあって、調査範囲の変更がない等により運用のA（調査範囲）の手続を省略している場合は、事業概要（変更概要）及び調査範囲の検討結果が分かる資料を添付すること。

 (様式第８号)

年　月　日

　河川管理者　様

（県管理河川の場合は「河川企画課長」）

　　　申請者

林地開発行為の許可申請における河川管理者の同意について(依頼)

林地開発許可申請を予定している下記１の開発行為に係り、浜松市林地開発許可審査基準及び留意事項に基づき、下記２の事項について確認を依頼します。

記

１　開発行為の概要

1. 森林の所在場所
2. 開発行為の目的

２　確認・同意を求める事項

　　・開発行為区域からの○級河川○○水系○○川への放流に係る排水計画（放流地点、放流量）

３　送付資料

・開発行為区域からの○級河川○○水系○○川への放流に係る資料

注）

・変更許可申請にあっては、「許可」を「変更許可」に読み替えるものとする。

・資料は、事前に林地開発許可の審査機関の確認を受けること。

・変更許可申請にあって、運用AからCの手続を省略している場合は、事業概要（変更概要）及び狭窄地点・ネックポイントの検討結果が分かる資料を添付すること。